

議案明細書

令和2年5月30日（土）に「令和2年度 駿博会 総会」を開催する予定にいたしておりました。しかし、今般の新型コロナウイルス感染予防のため、駿河台校舎での総会の開催は困難になりました。

会長及び総務委員会で検討し、総会を「ホームページを用いた書面開催」とさせていただくことにいたしました。開催方法は、5月30日（土）に「総会資料」及び「本議案明細書」を駿博会ホームページに掲載し、5月30日（土）～6月6日（土）の期間にご審議をお願い申し上げます。何かとご多用のこととは存じますが、総会資料及び議案明細書をご確認いただき、ご審議下さいますようお願い申し上げます。

審議の可否につきましては、次のメールアドレスまで、ご送信くださいますようお願いいたします。ご質問、お問合せなども同様になります。

E-mail: shunpaku@adm.cst.nihon-u.ac.jp

議事1 令和元年度事業報告（案）について

○令和元年度事業報告（案）について、資料1をご覧ください。

- ・ 駿博奨励賞・功労賞に係る事業として、令和元年度駿博奨励賞・功労賞の募集、選考を行い、令和元年5月14日に授与式を開催しました。奨励賞は2名に授与しましたが、功労賞は該当者がいませんでした。
- ・ 大学院生育成に係る事業として、博士後期課程学生を集めた学生交流会を令和2年2月20日に実施しました。
- ・ 講演会に係る事業として、主に大学院生を対象とした講演会の開催を補助しておりますが、令和元年度は申請がありませんでした。
- ・ 学位取得者表彰に係る事業として、理工学部と協力して11月21日の学術賞表彰式で学位取得者8名に記念のワイングラスを贈呈しました。
- ・ 会員の交流に係る事業として、令和元年度理事会・総会及び懇親会を5月25日に開催しました。
- ・ 会員への広報に係る事業として、駿博会会報87号、88号をそれぞれ令和元年5月30日、令和2年1月10日に発行し、全会員に送付しました。また、ホームページを随時更新しました。
- ・ これらの事業を実施するため、総務委員会を平成31年4月25日の第1回から令和2年3月23日の第6回まで、計6回開催しました。
- ・ 以上、事業計画通りに事業が実施されました。

議事2 令和元年度収支決算（案）について

○令和元年度収支決算について 資料2をご覧ください

- ・ 収入の部では、会費収入が5.5万円、会費先受金と合わせると15万円ほどマイナスになっています。会費未納者には毎年督促を行っておりますが、年度によって入金状況が大きく変動し、遡っての会費の納入があったり、今後の会費を先払いされる方がいたりという年度もあるのですが、令和元年度は前年度に比べ比較的集金できたと言えます。令和2年度も引き続き会費の振込の依頼、督促を行っていくことが重要かと思われます。
- ・ 支出の差異として、支出超過は通信・運搬費と印刷製本費で、会報の印刷はほぼ例年通りですが紙代の値上がりから、若干マイナスになりました。
- ・ なお、理工学部からの補助が平成27年度からなくなり、諸会費となっている講演会の講師謝礼については理工学部から講師へ直接支払いという形となっています。ちなみに事業報告にもございましたが、講演会は開催がありませんでした。
- ・ 会合費に10万円の残金が出ていますが、2月に開催した博士後期課程学生の交流会の費用が未請求・未払いのためです。請求があり次第、令和2年度予算で支払いますので、次年度は会合費にマイナスが出ます。
- ・ 支出の部の下から4段目、「積立金への繰入支出」があります、周年事業のために特別会計を組み毎年20万円ずつ積み立てています。
- ・ その他の支出項目はほぼ予算内に収まっております。
- ・ 当該年度の収支単独で見ると9万円程度のプラスとなっていますが、未払金があったためです。
- ・ 以上です。

令和元年度「監査報告」は、物質応用化学専攻の大月穰監事と物理学専攻の浅井朋彦監事に行っていただき、「令和元年度決算報告ならびに関係帳簿・証憑書類等の監査の結果、相違ないことを認めここに報告いたします。」との報告を受けております。

議事3 令和2年度事業計画（案）について

○令和2年度事業計画（案）について、資料3をご覧ください。

- ・ 駿博奨励賞・功労賞に係る事業として、令和2年度駿博奨励賞・功労賞の募集及び選考を行います。
- ・ 新たに、駿博指導者賞を制定し、同賞の募集を行います。
- ・ 大学院生育成に係る事業として、博士後期課程在籍学生を集めた交流会を令和3年2月18日に開催を予定しています。
- ・ 講演会に係る事業として、各専攻に働きかけ、大学院生を対象とした講演会の開催を奨

励します。

- 学位取得者表彰に係る事業として、11月19日に開催予定の学術賞表彰式において、学位取得者に理工学部と協力して記念のワイングラスを贈呈します。
- 会員の交流に係る事業として、令和2年度理事会・総会及び懇親会を予定していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発出を受けて、理事会はメールによる書面審議で、総会はホームページを用いた書面審議として行うことにします。また、懇親会は、感染症の影響が落ち着いた頃に行うことにします。
- 会員への広報に係る事業として、駿博会会報89号、90号をそれぞれ令和2年6月、および12月に発行を予定します。また、ホームページを随時更新します。
- なお、上記事業計画以外の事業が発生した場合は、会長・副会長等の承認を得て計画を実施します。
- 以上です。

議事4 令和2年度収支予算（案）について

○令和2年度収支予算について 資料4をご覧ください。

- 収入は現在の会員数にもとづき算出しています。全会員の80%程度の入金を見込んでいることは例年どおりです。
- 会費収入は前年度予算より若干増額、会費先受金も若干増額です。これは会員数に応じています。
- 支出は基本的に前年度と同様に致しました。会合費が極めて増額になっているように思われますが、前年度決算に未払金があったためです。なお、総会懇親会が延期となっております関係で決算時に差異が出るものと考えられます。
- 次回の周年事業として創立40周年記念事業を予定いたします。本年度も積立金への繰入支出を20万円計上いたします。
- 特別会計の予算案は40周年記念事業のために、3年目として73万円が積み立てられる予定です。
- 結果、本年度の支出予算額107.8万円、次年度の繰越金182万円を計上いたしました。
- なお、例年ご提案しておりますが、単年度で支出超過が極めて大きくなった場合、周年事業の積立をとりやめることを検討いたします。年度によって会費納入にばらつきが大きい場合臨機応変に単年度の収支の結果をみて決算をしていきたいと思っております。
- 以上です。

議事5 令和2年度駿博会役員（案）について

- 令和2年度駿博会役員（案）について、資料5をご覧ください。
- ・ 令和元年度からの変更は、原田宏理事が今年度の理事就任をご辞退されたことでありませす。
- ・ 監事は、大学院ガイドブック掲載の専攻順で1年ごとに交代しており、令和2年度の監事は、専攻内において会員資格を有する者のうちで資格順・五十音順である数学専攻の河野（平田）典子先生、量子理工学専攻の出口真一先生であります。両先生からは内諾をいただいております。

議事6 駿博会駿博指導者賞制定に関する要項（案）について

- 駿博会駿博指導者賞に関する要項（案）について、資料6をご覧ください。
- ・ 本賞は新たに制定する賞です。
- ・ 総務委員会で1年間にわたり、検討してきました。
- ・ 駿博指導者賞は、学位（博士）取得者を数多く指導した教員に対して、その情熱と指導力に敬意を表し、顕彰することを目的としています。
- ・ 駿博指導者賞の対象者は、自らが主査を務めた学位論文（博士）の数が比較的多い駿博会会員であり、自己推薦するものです。
- ・ 駿博指導者賞の受賞者には盾を授与し、総会において表彰いたします。
- ・ 詳細については、資料6をご覧くださいと思います。
- ・ 本総会で承認されれば、令和2年6月6日制定、同日施行といたします。

議事7 駿博会会則改定（案）について

- 駿博会会則改定（案）について、資料7をご覧ください。
- ・ 駿博会会則の一部を改定するものであります。
- ・ 改定の目的は、駿博指導者賞制定に伴うものであります。
- ・ 改定箇所は、資料7中にアンダーラインを引いて示している箇所であり、第4条、第15条、及び第19条のそれぞれ一部であります。
- ・ 詳細については、資料7をご覧くださいと思います。
- ・ 本総会で承認されれば、令和2年6月6日一部改定といたします。

報告1 令和2年度駿博会駿博奨励賞受賞者について

- 令和2年度駿博会駿博奨励賞受賞者について、資料8をご覧ください。

- ・理事会にて、専攻順推薦による候補者として、交通システム工学専攻・博士後期課程1年・積田典泰（ツミタノリヤス）さんに決定しました。
- ・積田さんは、「開発途上国都市における都市洪水発生時における適応策の検討とその評価」について研究を行っています。
- ・査読付き原著論文は、第一著者として日本環境共生学会が発刊している学会誌「環境共生」に受理され、次号で掲載される予定があります。他に、2件（1件は共著、もう1件は第一著者として投稿中）あります。発表論文は11件あります。
- ・一方、公募・自己推薦による候補者の応募は、1件もありませんでした。
- ・これは、今年2月から流行し始めた新型コロナウイルス感染症による影響が大きいと見なされます。
- ・そのため、令和2年度の受賞者は「なし」といたします。

報告2 令和2年度駿博会駿博功労賞について

○ 令和2年度駿博会駿博功労賞について、資料9をご覧ください。

- ・理事会にて、仲滋文（ナカシゲフミ）理事を功労賞受賞者に決定しました。
- ・仲理事は、平成21（2009）年度から総務委員として活動され、平成23年度から2年間、副会長・第8代総務委員長を務められて、博士後期課程学生交流会の実現、創立30周年記念事業の実施などに尽力されました。総務委員長退任後も総務委員として継続して駿博会に貢献いただいております。

以 上